



教育長 コラム

①



●まず、はじめに

「まごころ通信」をめぐって

「教育」は、成長する子ども
の途切れないニーズにこえ
る営みでもあります。子ども
の気持ちの揺れを受け止めな
がら、その子どものテンポで
接し続けなければ、本音を話
し始めてくれません。

「子どもの立場に立った発
想に代わるか」とか。

大人は自分の感情やエゴを
一度横に置き、真摯に子ども
たちの声に耳を傾けてほしい
のです。

子どもたちや保護者・地域
から求められるのは「はじめ
に子どもありきの先生」では
ないでしょうか。



教育委員会の活動

学校給食展

小田原市の学校給食や食育の
取組を知っていただくために、
子どもが好きなメニューや小田
原の地場産物の実物を紹介した
り、「削り節を削ってみよう」
や「お米をすくってみよう」な
どの体験コーナーを設けまし
た。親子を中心に多くの方が興
味深く参加していました。

日時：10月21日(土)
22日(日)

場所：ハルネ小田原

「きゅうしょくだいすき！—おだわらだいすき—」



米つかみ

教員海外研修視察派遣

本年度、教員海外視察派遣
教員に派遣された下府中小学
校 瀬戸哲子総括教諭と泉中
学校 生垣麻美総括教諭が
1月10日(火)に来庁し、
教育長に視察報告を行いました。

お二人は、平成29年11月
4日から10日まで、アメリ
カ合衆国オクラホマ州ノーマ
ン市の学校を視察しました。

報告では、教育機器設備が
充実していることや、特別支
援学級における指導法、カウ
ンセラーによる授業など、ノ
ーマン市の教育活動について
たくさん写真を用いて説明
がありました。



視察報告の様子

すてやかセミナー

12月4日(月)、学校保健会主
催(市教委共催)の「子どもたちの
人生をまもる『生きるための心の教
育(性教育)』」をおだわら総合医療
福祉会館で開催しました。

東京医療保健大学 准教授の渡邊
睦子先生をお招きし、保護者と教員
を対象に、子どもの心の発達段階や
性感染症などの性の問題などにつ
いて御講演いただき、参加者からは、
今後の学校や家庭での生活のため
になると好評でした。



①山本 美湖



学校の取組

12/17



約40名の生徒が参加

白鷗中学校

本校では、協力する心や奉仕の精神を育てることを目的として、さまざまなボランティア活動を実施しています。その一環として、「箱根駅伝を応援しよう」応援活動の一環として、平成25年度から生徒会主催の地域清掃ボランティアを行っています。今年も酒匂中学校・橋中学校とタイアップして、各学区の国道1号の歩道を清掃しました。



12/4

片浦小学校

親子ふれあい活動でみかん狩りを行いました。親子でたくさんのみかんを収穫し、獲れたみかんの一部は、6年生が書いた手紙を添えて、福島市立東湯野小学校に送らせていただきました。

酒匂中学校の生徒と出会い、両校生徒会長が握手！！



©田代 美姫



植え込みにも「ゴミがたくさん・・・」

教育委員の活動

11/30

西湘地区教育委員会連合会
研修視察に出席しました！



©日本科学未来館

西湘地区教育委員会連合会は西湘地区の2市8町の教育委員会で構成されている会です。毎年行われている研修視察では、36名の教育長と教育委員が参加し、日本科学未来館とそなエリア東京を視察しました。どちらの施設も複数校の小学生・中学生が見学・体験していました。私たちも未来・地球・宇宙などについて学び、また、地震発生後72時間の生存力をつける体験学習をしてきました。

パーソナル・モビリティ「UNI-CUB」を体験



①そなエリア →



教育委員のひとこと



教育長職務代理者

わた ひげろ
和田 重宏

本市の児童生徒の学力・体力は、全国学力学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると、「こころ・2年で確実に向上しています。これは、現場の先生方の日々の地道な取り組みによる結果です。このような成果が生まれている一方で、最近特に顕著なのは分野ごとに専門細分化され、横のつながりが失われるという社会構造的な課題があります。問題を解決するには、一つの担当部署だけでは解決できなくなっています。このような課題を解決するには、小田原の教育が掲げる「命・地域・信頼」の三つのテーマの中の「地域」によるところが大きいと思います。地域は、性別・年齢・専門などが異なる、様々な人たちがつながりあって暮らしている「多様性を共有するコミュニティ」です。問題解決には、この機能が欠かかせません。教育委員会が進めている「コミュニティ・スクールや、市が取り組むものとして、小学校単位の地域コミュニティ構想の実現が急務だと考えます。